

<参考資料>

■自動車リサイクル部品について

自動車リサイクル部品の種類には、以下のものがあります。

- ・リユース部品：使用済み自動車から取り外された部品で、性能評価後、美化され再利用できる状態に商品化した部品。
- ・リビルト部品：使用済みの部品を分解し、消耗した部分のみを新品部品に交換し、再度組み立てた部品。

今回の提携によるリサイクル部品の流通は、リユース部品の流通が主になります。

エンジンをはじめとする電装系部品などの機能部品は、専用テスターでの評価により、その性能を担保され、かつ一定期間の保証がついたものが多く、バンパーやボンネット及びドアなどの外装部品は、しっかりと洗浄の上、細かなキズ情報が明示された商品が流通しています。

国内のリサイクル部品の市場は約50年以上の歴史があり、その生産工程も確立してきています。その中で生産される国内のリユース部品は、その品質の高さ、信頼性の高さで世界中から注目されています。

<リサイクル部品が普及する意義>

リサイクル部品の普及が進むことで一般消費者においては、マイカーの修理を安価に抑えることができます。また、リサイクル部品を使用することで、CO₂の削減に大きく貢献することができ、地球温暖化の防止につながります。

<リサイクル部品の現状>

上記の通り、日本のリサイクル部品の商品価値は非常に高いものの、一般消費者に対する認知度はまだ低く、国内の自動車アフターマーケットにおける普及も進んでいません。